



2026年3月期 第1四半期

# 決算説明資料

ヨネックス株式会社

証券コード:7906

2025年8月8日

<b>1. 2026年3月期 第1四半期決算</b>	.....	<b>3</b>
<b>2. セグメント概況</b>	.....	<b>7</b>
<b>3. 2026年3月期 業績予想</b>	.....	<b>14</b>
<b>4. トピックス</b>	.....	<b>15</b>
<b>5. Appendix</b>	.....	<b>18</b>

売上高

398億円

前年同期比

+28.3%

営業利益

62億円

前年同期比

+89.1%

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

42億円

前年同期比

+51.5%

売上高

- 各地域でスポーツ市場が堅調に推移する中、当社の草の根販促活動や、国際大会および選手活躍の話題を活かしたマーケティング活動も奏功し、連結売上高は1Qとして過去最高値を計上
- バドミントンは、最大市場の中国をはじめ、各国で当社製品への需要が高まる
- テニスは、国際大会での当社契約選手の活躍によるブランド認知拡大とともに、新製品ラケットも好評

営業利益

- グローバルでのマーケティング投資強化に伴う広告宣伝費や、人件費等の販管費は増加
- 粗利率の改善に加え、増収による粗利増加の影響が販管費の増加を上回り、1Qとして過去最高益を計上

# 一 連結業績

(百万円)

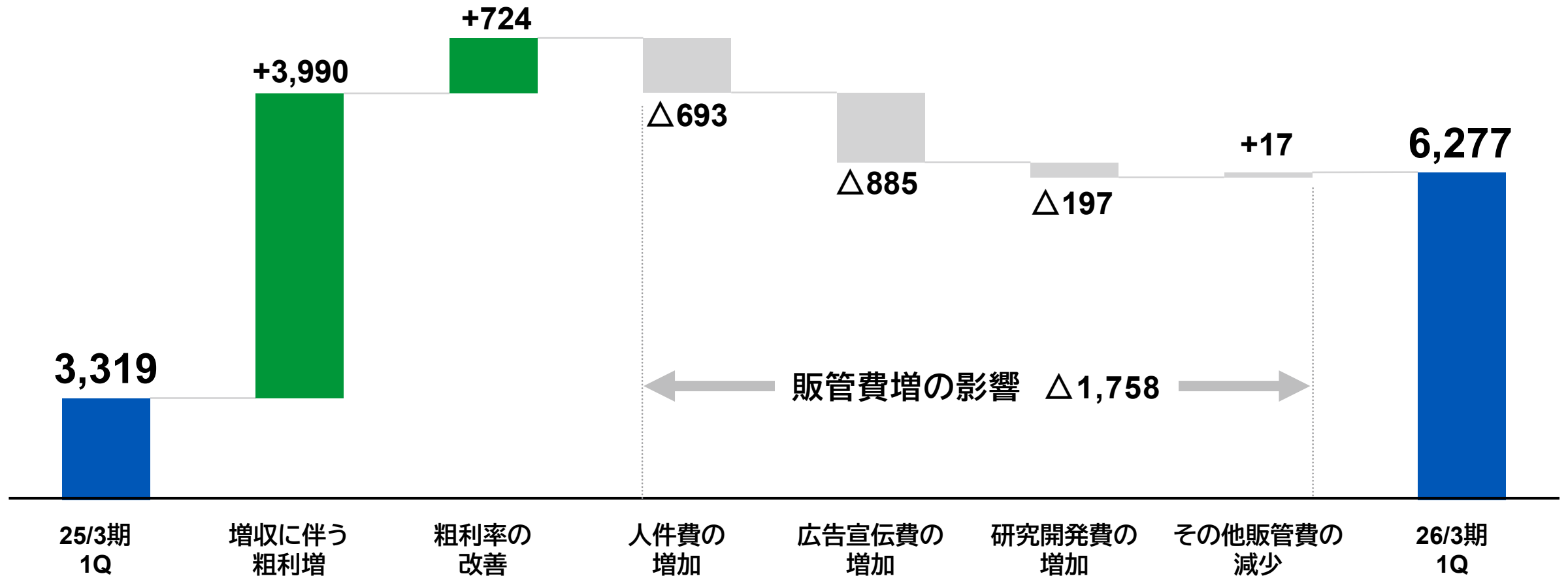
	2025年3月期 1Q 実績	2026年3月期 1Q		増減率 (増減額)	2026年3月期 予想*	
		実績	売上比		上期	通期
売上高	31,067	39,856	—	+28.3% (+8,788)	75,000	148,000
売上総利益	14,107	18,823	47.2%	+33.4% (+4,715)	—	—
販管費	10,788	12,546	31.5%	+16.3% (+1,758)	—	—
営業利益	3,319	6,277	15.7%	+89.1% (+2,957)	8,600	14,800
経常利益	3,734	5,954	14.9%	+59.4% (+2,219)	8,500	14,600
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,797	4,237	10.6%	+51.5% (+1,440)	6,300	10,800
1株当たり四半期純利益	32.33円	49.60円	—	+17.27円	73.73円	126.40円

※ 2025年5月9日公表値

# 一 連結営業利益 増減分析

増収影響が大きく、粗利率の改善も寄与し粗利が増加。販管費はグローバルでのマーケティング投資強化により広告宣伝費が増加したことに加え、主に日本セグメントでの人件費が増加

(百万円)



# 一 連結貸借対照表

棚卸資産は主に中国子会社での販売増加により減少。有形固定資産と有利子負債は、事業拠点整備のための不動産取得およびテニス新工場関連の設備投資と、それらに伴う借入により増加

## ● 資産

	2025年3月末	2025年6月末	増減額
現預金	29,478	29,844	+366
受取手形・売掛金	20,003	21,594	+1,590
棚卸資産	20,005	18,887	△1,117
有形固定資産	30,607	35,858	+5,250
無形固定資産	1,725	1,648	△76
その他	7,731	8,854	+1,123
<b>資産合計</b>	<b>109,551</b>	<b>116,687</b>	<b>+7,136</b>

## ● 負債・純資産

(百万円)

	2025年3月末	2025年6月末	増減額
買掛金	10,402	8,815	△1,586
有利子負債	10,213	14,736	+4,522
その他	19,508	21,794	+2,286
<b>負債合計</b>	<b>40,124</b>	<b>45,346</b>	<b>+5,221</b>
自己資本	69,201	71,127	+1,926
非支配株主持分	224	213	△11
<b>純資産合計</b>	<b>69,426</b>	<b>71,341</b>	<b>+1,914</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>109,551</b>	<b>116,687</b>	<b>+7,136</b>

# セグメントの概要

日本・アジア・北米・ヨーロッパの4つの地域別セグメントから成るスポーツ用品事業と、スポーツ施設事業で構成

(百万円)

セグメント		2026年3月期1Q 実績		連結売上高 構成比	業績計上対象	
		売上高	営業利益		販売	製造
スポーツ用品 事業	日本	15,539	1,875	39.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨネックスジャパン(日本国内向け)</li> <li>海外代理店向け*</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟工場</li> <li>東京工場</li> <li>ヨネックス精機</li> </ul>
	アジア	20,421	3,501	51.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨネックス中国</li> <li>ヨネックス台湾</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨネックス台湾</li> <li>ヨネックスインド</li> <li>ヨネックステクニファイバー(タイ)</li> </ul>
	北米	2,185	289	5.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨネックス北米(アメリカ・カナダ)</li> </ul>	
	ヨーロッパ	1,501	86	3.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨネックスドイツ</li> <li>ヨネックスイギリス</li> </ul>	
スポーツ施設事業		208	53	0.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>カントリークラブ、ゴルフ練習場、テニスクラブの運営</li> </ul>	

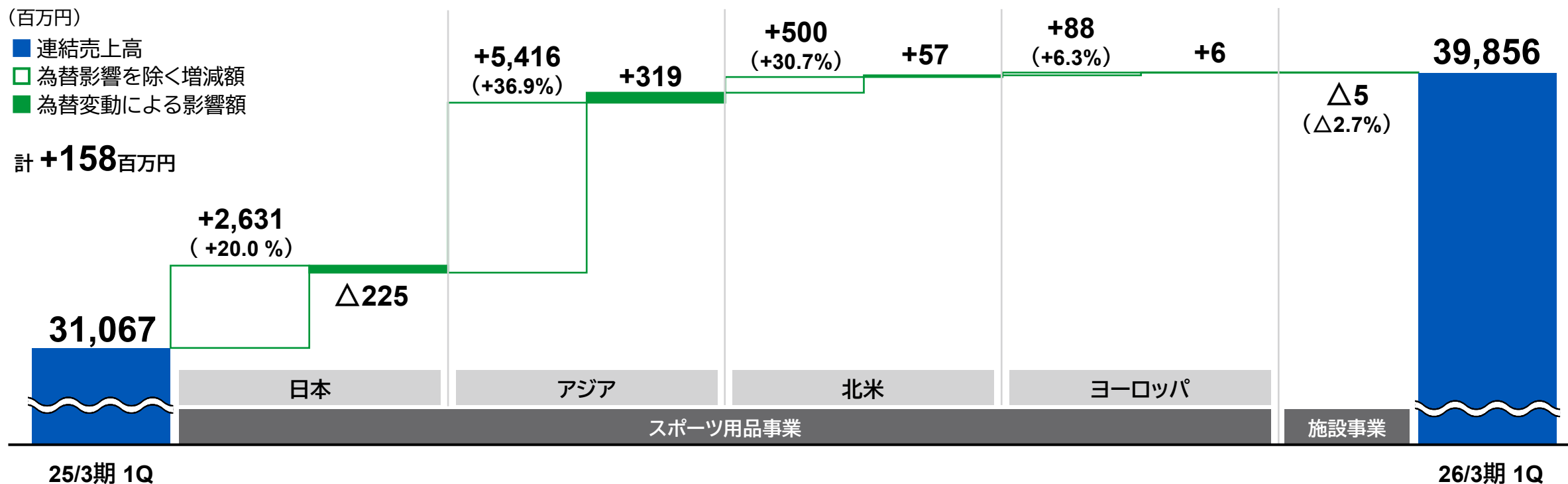
\* 代理店を経由して販売している地域:東南アジア・インド・韓国・フランス・オーストラリア等

# セグメント別売上高への為替影響

連結での為替換算による影響は軽微。日本セグメントは、海外代理店向け販売において4~6月の対ドル為替レートが適用されるため、円高により為替換算が売上高を下押し

## ● 為替レート

	1RMB	1TWD	1USD	1EUR	1GBP
25/3期 1Q (1-3月)	20.62円	4.72円	148.60円	161.30円	188.48円
26/3期 1Q (1-3月)	<b>20.94円</b>	<b>4.64円</b>	<b>152.59円</b>	<b>160.50円</b>	<b>192.13円</b>
前年同期比	+1.6%	△1.7%	+2.7%	△0.5%	+1.9%





# スポーツ用品事業 日本

売上高

**15,539**百万円

前年同期比  
**+18.3%**

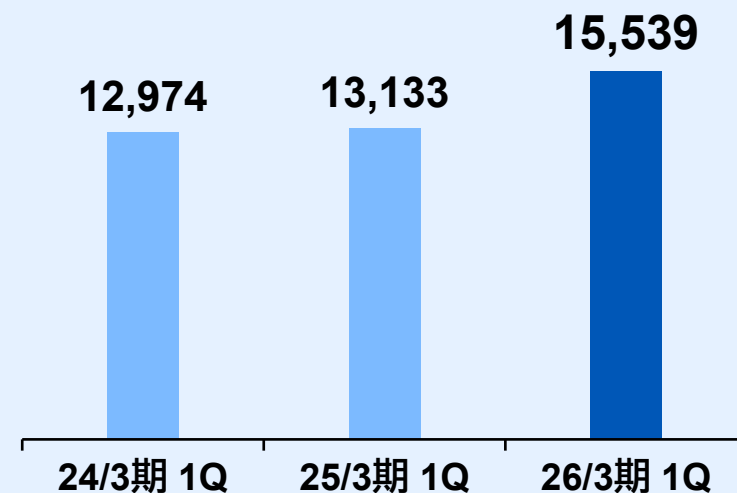
国内

バドミントン用品は堅調な需要が継続し、ラケット、ストリング、シューズ等の販売が増大。テニス用品は、3月発売の新シリーズ「EZONEα」を含むラケットの販売が好調となったことに加え、春の需要期も追い風となりシューズの販売も増加

海外代理店

アジア各国でのバドミントン用品の販売が牽引したことに加え、テニス用品も増収。円高に伴う為替換算による下押し影響はあったものの増収

(百万円)



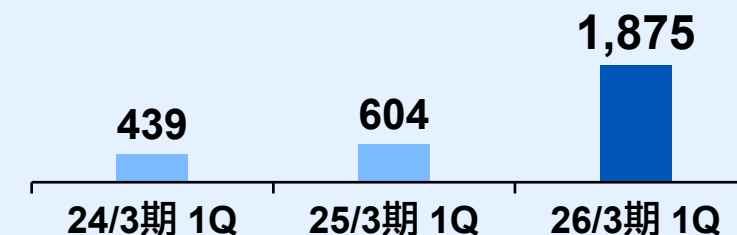
営業利益

**1,875**百万円

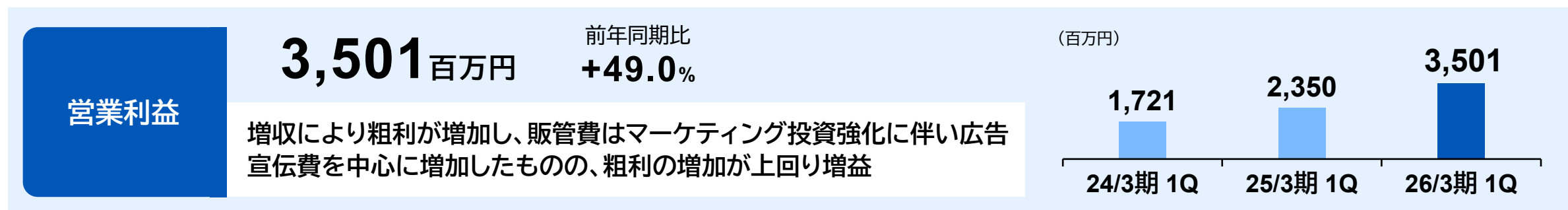
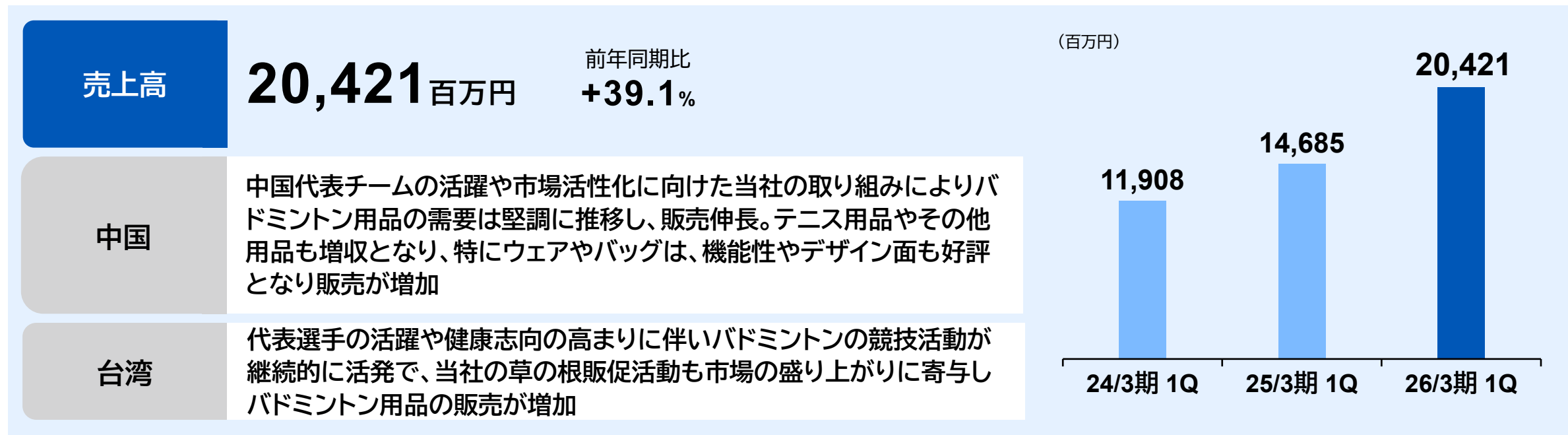
前年同期比  
**+210.4%**

粗利は増収効果により増益。販管費は人件費、広告宣伝費、研究開発費等が増加したものの、公租公課や支払手数料が減少したため、粗利の増加が販管費の増加を上回り大幅増益

(百万円)



# スポーツ用品事業 アジア



● 為替レート

	2024年1-3月	2025年1-3月	前年同期比		2024年1-3月	2025年1-3月	前年同期比
1RMB	<b>20.62</b> 円	<b>20.94</b> 円	<b>0.32</b> 円 円安	1TWD	<b>4.72</b> 円	<b>4.64</b> 円	<b>0.08</b> 円 円高

# スポーツ用品事業 北米

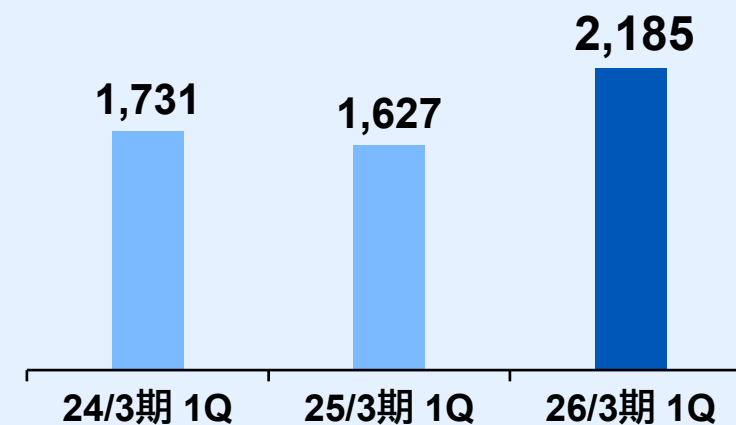
## 売上高

**2,185**百万円

前年同期比  
**+34.3%**

テニス用品は、1月に開催されたグランドスラムでの当社契約選手の活躍もブランド認知拡大に繋がり、1月発売の新製品ラケット「EZONE」シリーズの販売好調や、ストリングの販売伸長により増収。バドミントンは、引き続き競技活動が活発に行われ、バドミントン用品全般で販売が増加

(百万円)



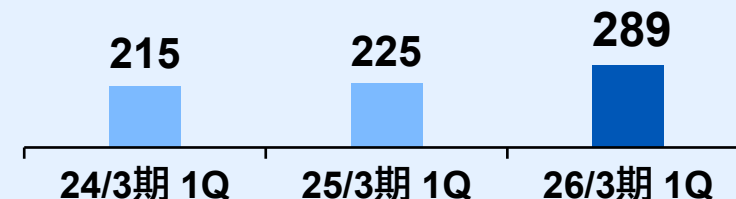
## 営業利益

**289**百万円

前年同期比  
**+28.3%**

国際大会に合わせたポップアップストア出店等のマーケティング投資強化による広告宣伝費の増加や、人件費の増加等により販管費は増加したものの、売上総利益の増加が上回り増益

(百万円)



### ● 為替レート

	2024年1-3月	2025年1-3月	前年同期比
1USD	148.60円	152.59円	3.99円 円安

# スポーツ用品事業 ヨーロッパ

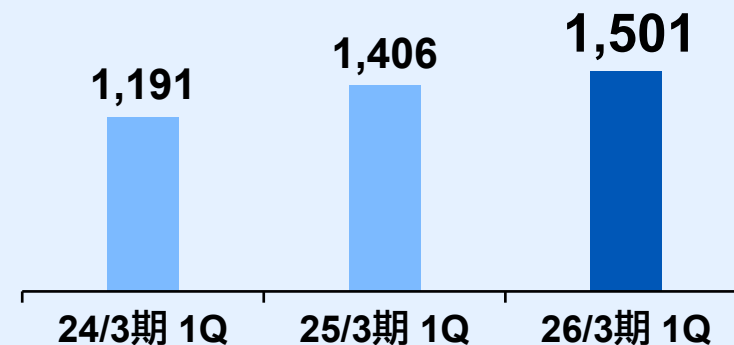
## 売上高

**1,501**百万円

前年同期比  
**+6.8%**

バドミントン用品は、ドイツおよびイギリスでそれぞれ主要な国際大会が開催され、市場が引き続き堅調に推移。幅広い価格帯でラケットの販売が増加したことに加え、ストリングの販売も伸長。テニス用品は1月発売の「EZONE」シリーズが欧州でも好評となり、テニス用品の増収に寄与

(百万円)



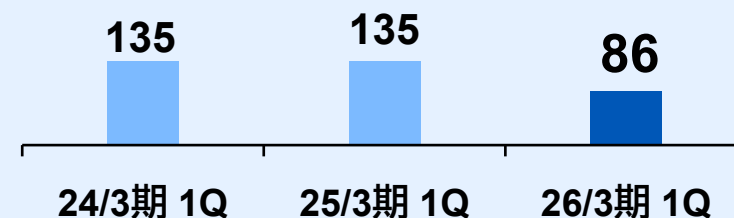
## 営業利益

**86**百万円

前年同期比  
**△36.3%**

増収に伴い粗利は増加したものの、人件費や、国際大会関連に関連した広告宣伝費等の販管費の増加が上回り減益

(百万円)



## ● 為替レート

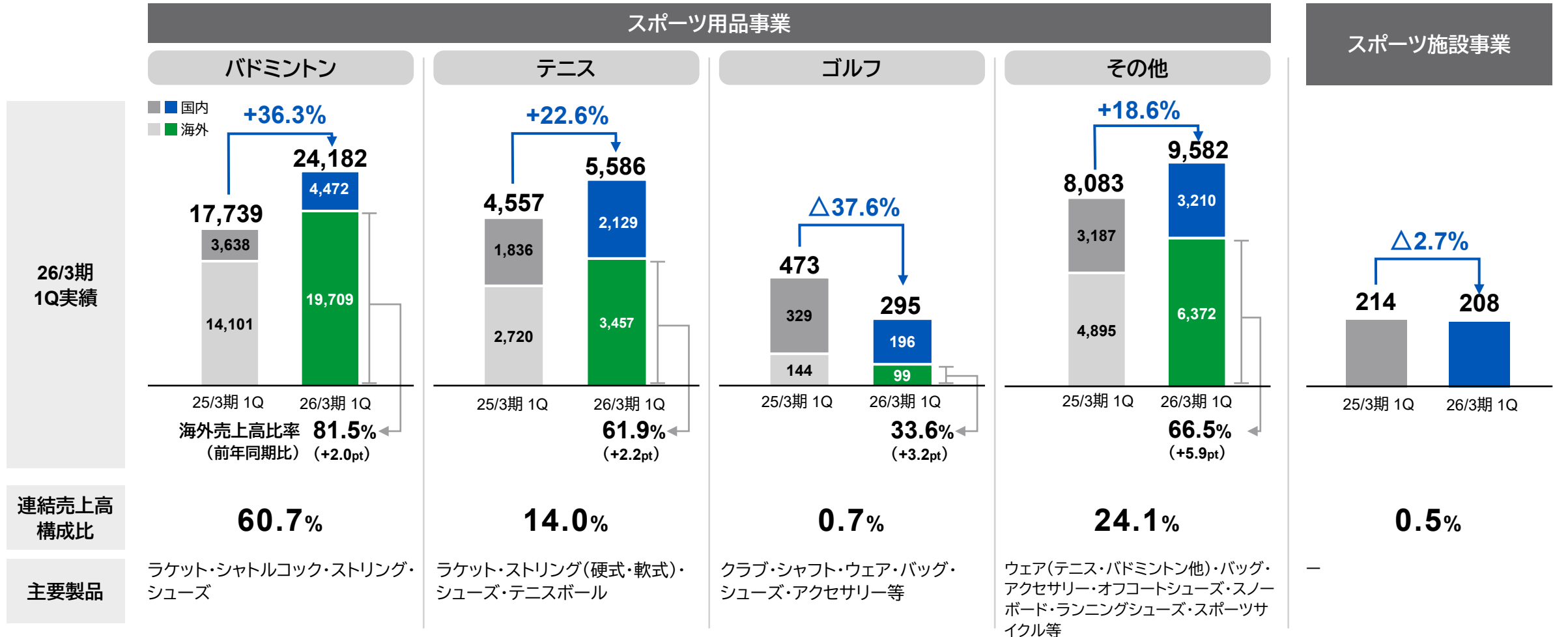
2024年1-3月 2025年1-3月 前年同期比  
1EUR **161.30円** → **160.50円** **0.80円** 円高

2024年1-3月 2025年1-3月 前年同期比  
1GBP **188.48円** → **192.13円** **3.65円** 円安

# — 種目別売上高

バドミントン、テニスは国内・海外ともに増収。ゴルフは新製品発売効果があった前年に比べ減収。その他は中国でのウェア、バッグ等の販売増加が牽引

(百万円)



※ 海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

# — 2026年3月期 業績予想(変更なし)

外部環境は注意が必要な状況が継続するが、グローバル成長戦略(GGS)に沿って中長期の成長に向けた取り組みを進め、持続的な成長を目指す

## ● 予想の前提

- 米国関税政策や為替変動の動向、地政学リスク、原材料価格高止まり等の事業環境は引き続き注意が必要だが、スポーツ市場は一定程度の堅調さを見込む
- GGSに基づく中長期的な成長に向けた基盤づくりを進めながら、グローバルでのお客様拡大や、競技のさらなる発展に向けた取り組みに注力し、持続的な成長を目指す
- 為替の円高推移や事業環境を考慮するとともに、積極的なマーケティング投資と人件費増加を見込む

## ● 為替レート (期中平均) (円)

	25/3期 実績	26/3期 予想
1RMB	21.01	19.5
1TWD	4.71	4.5
1USD	151.57	140
1EUR	163.94	160
1GBP	193.68	190

(百万円)	2025年3月期 実績		2026年3月期 予想		増減率(増減額)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	66,942	138,276	75,000	148,000	+12.0% (+8,057)	+7.0% (+9,723)
営業利益	7,691	14,176	8,600	14,800	+11.8% (+908)	+4.4% (+623)
営業利益率	11.5%	10.3%	11.5%	10.0%	±0.0pt	△0.3pt
経常利益	7,344	13,964	8,500	14,600	+15.7% (+1,155)	+4.5% (+635)
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,425	10,591	6,300	10,800	+16.1% (+874)	+2.0% (+208)

# ー バドミントン: スティルマンカップ2025 中国が史上最多14回目優勝

2年に一度開催される男女混合の国・地域別対抗戦「スティルマンカップ」が中国で開催。中国チームが史上最多となる14回目の優勝を飾る

**スティルマンカップ2025**(2025年4月27日～5月4日、中国・廈門)

各国の主力選手が集う本大会で、男子シングルス世界ランク1位※のシー・ユーチ選手や女子ダブルス世界ランク1位※のタン・ニン選手&リョウ・シェンシュウ選手など強者が揃う中国チームが、決勝で韓国チームを下し優勝。 ※世界ランクは2025年4月22日時点



## 大会の話題を活かしたマーケティング



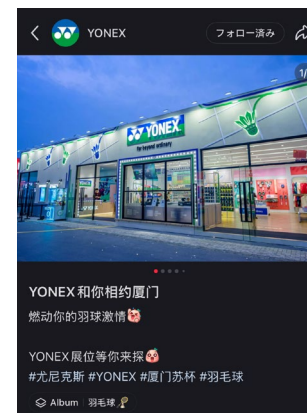
### ▲ヨネックスブース

大会限定品の販売や展示を通じてファンとのつながりを強化



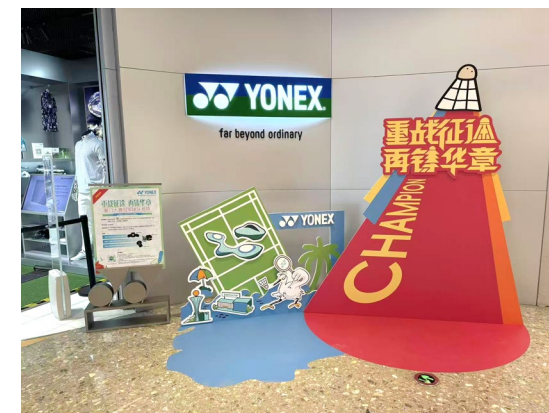
### ▲チームヨネックス選手サインイベント

中国代表選手を始め、各国のチームヨネックス選手がファンと交流



### ▲会場外での情報発信

体育館、公共交通機関、SNS、ショールーム等のあらゆるタッチポイントにおいて、大会や選手関連の情報発信強化



# テニス: ヨネックス テニスボールが新たにATPアジア主要3大会の公式球に

自社工場製の高品質・高性能なテニスボールの提供により選手のパフォーマンスを支えるとともに、Head to Toe(頭からつま先まで)での提案力強化を図る



## 2025年新規対象大会

- 上海マスターズ(中国、10月) ATP1000
- 木下グループジャパンオープン(日本、9月) ATP500
- 成都オープン(中国、9月) ATP250

2024年採用実績: 「東レ パン パシフィック オープン テニス トーナメント」(WTA500、日本)、  
「広州オープン」(WTA250、中国)、「成都オープン」(ATP250、中国) 等

※ATPは男子、WTAは女子のプロテニス協会。グレードはグランドスラムに次いでATP1000、WTA1000が最も高い

ヨネックスは、2021年12月にタイのテニスボール製造会社を子会社化。自社工場において、安定した飛び性能と高い耐久性を誇るテニスボールを製造。

大会採用球「ツアープラチナム」(ITF/JTA公認球)▶



## 中国・日本で記者会見実施

中国では上海マスターズの会場である「旗忠テニスセンター」のセンターコートで記者会見が行われ、大会関係者やメディア、販売店、インフルエンサー等が出席。ヨネックス・タイ工場でのボールの製造工程の紹介や、実際に性能を試していただく試打イベントも実施。

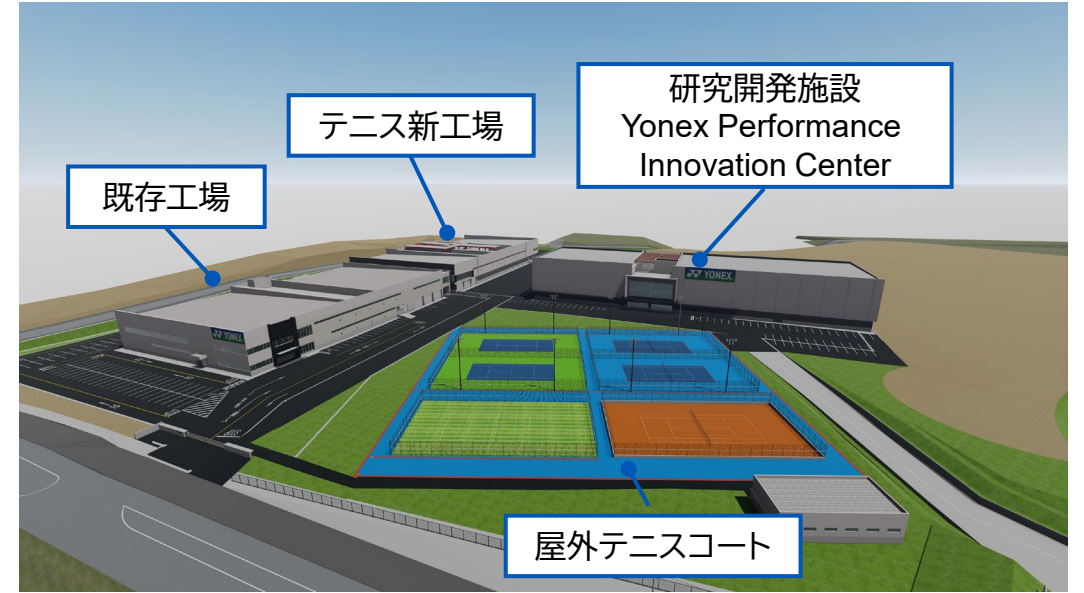
記者会見の様子: 上海(左)、東京(右)▶





## — ものづくり:新潟テニスラケット新工場が完成(25年6月)

新潟県長岡市の既存工場及び研究開発施設と同敷地内にテニスラケット新工場が竣工し、25年12月の稼働を目指す。高品質・高性能なものづくりを行い、グローバルで高まる需要に応える



- 2030年度をめどに、既存工場と合わせたテニスラケット生産量を2024年度の**1.7倍**を目指す
- 隣接する研究開発施設「Yonex Performance Innovation Center」と連携し、試作・製造のサイクルをスピーディーに回すことでさらなる**イノベーション**を追求する

### 新潟工場長岡 テニス新工場

- 所在地: 新潟県長岡市
- 事業内容: テニスラケットの製造
- 延床面積: 12,290㎡
- 稼働開始: 2025年12月(予定)



# Appendix

## — 参考：国内／海外法人の決算期について

日本セグメント(国内事業・海外代理店向け販売)は3月決算、海外現地法人は12月決算であり、連結決算における対象期間は以下のとおり

### ● 2026年3月期 1Q連結決算の対象期間(会社別)

	2025年												2026年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日本セグメント (国内+海外代理店向け)				第1四半期 (1Q)			第2四半期 (2Q)			第3四半期 (3Q)			第4四半期 (4Q)		
アジア、北米、 ヨーロッパセグメント (海外子会社)	第1四半期 (1Q)			第2四半期 (2Q)			第3四半期 (3Q)			第4四半期 (4Q)					

## 一 セグメント別売上高推移

	(百万円)				
	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q
日本 (国内+海外代理店向け)	9,522	11,294	12,974	13,133	15,539
アジア (子会社)	5,524	10,056	11,908	14,685	20,421
北米 (子会社)	642	1,292	1,731	1,627	2,185
ヨーロッパ (子会社)	344	857	1,191	1,406	1,501
施設事業	144	192	185	214	208
<b>連結売上高</b>	<b>16,178</b>	<b>23,694</b>	<b>27,992</b>	<b>31,067</b>	<b>39,856</b>

### 日本セグメント

日本国内向け及び海外代理店向け販売  
(東南アジア、インド、韓国、フランス、オーストラリア等)

### アジアセグメント

中国・台湾・インド・タイ子会社

### 北米セグメント

北米子会社(アメリカ・カナダ)

### ヨーロッパセグメント

イギリス・ドイツ子会社

# 一 地域別(仕向地別)売上高推移

(百万円)

	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q
日本	7,360	8,388	8,532	9,206	10,217
海外売上高	8,818	15,306	19,460	21,860	29,638
アジア地域	7,334	11,620	14,982	17,261	23,770
北米地域	642	1,292	1,731	1,627	2,212
ヨーロッパ地域	514	1,988	2,318	2,534	2,972
その他	327	405	426	437	683
<b>合計</b>	<b>16,178</b>	<b>23,694</b>	<b>27,992</b>	<b>31,067</b>	<b>39,856</b>
海外売上高比率	54.5%	64.5%	69.5%	70.4%	74.4%

**日本** | スポーツ施設事業を含む日本事業  
**アジア地域** | 中国・台湾・東南アジア・韓国・インド 他  
**北米地域** | アメリカ・カナダ

**ヨーロッパ地域** | ドイツ・イギリス・デンマーク・フランス 他  
**その他** | オーストラリア・中近東・中南米 他

\*海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略等は、当社が作成日時点において把握できる情報から得た判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。